

科目名	単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
生物基礎	2	2年 普通科	<b>必修</b>	高等学校 生物基礎 (第一学習社)	セミナー 生物基礎 (第一学習社)

学習目標	地球上には多種多様な生物が存在し、それらの生物は色々な環境に応じた形質をもっている。しかし、見かけは違っても非常に多くの共通点をもっている。そうした共通点や、または、それぞれの環境に応じた形質のちがいを、そして、「生きている」とはどういうことかを理解することを目標にします。
主な学習内容	生物の構造や、代謝・光合成等の生体内での化学反応、遺伝子、そして、多様性と生態系について学習します。
評価の 観点・規準	①(関心・意欲・態度) 身の回りの生物や生物現象への関心をもち意欲的に探究しようとする態度があり、また、科学的な見方や考え方を身につけているかどうかを評価する。 ②(思考・判断・表現) 生物や生物現象の中に問題を見出し、科学的に考察し導き出した考えを的確に表現できるかどうかを評価する。 ③(観察・実験の技能) 観察・実験を通して、基本操作を習得するとともに、結果を記録・整理し、自然を科学的に探究する技能を身につけているかどうかを評価する。 ④(知識・理解) 生物や生物現象に関する基本的な原理・法則を理解し知識を身につけているかどうかを評価する。
評価の方法	① 授業への取り組みやレポートで判断、評価します。 ② レポートや定期考査で判断、評価します。 ③ 実験中の器具等の操作や結果、およびレポートにて判断・評価します ④ レポート、定期考査、小テスト等で判断・評価します。 以上、①～④の観点で総合的に評価します。

学期	内容
1 学期	第1章 生物の特徴 ・生物は多様でありながら、共通性をもっていることを理解する。 ・生命活動に必要なエネルギーと代謝(呼吸、光合成)について理解する。 中間考査 実験(顕微鏡の扱い方とスケッチ) ----- 第2章 遺伝子とそのはたらき ・遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴について、また、DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解する。 期末考査 実験(体細胞分裂の観察、酵素の性質、ユスリカだ腺染色体の観察)
2 学期	第3章 生物の体内環境 ・生物には体内環境を維持する仕組みがあることを理解させ、体内環境の維持と健康との関係について理解する。(自律神経、ホルモン、免疫) 中間考査 実験(浸透圧による細胞の変化、白血球の観察) ----- 第4章 バイオームの多様性と分布 ・地球上には低温でほとんど植物が生育しない地域から、高温・多雨で多くの種類の植物が地表をおおいつくすような地域など多様な環境が存在するが、生物はそれぞれの地域でどのように環境に適応して生活しているかを理解する。 期末考査
3 学期	第5章 生態系とその保全 ・生態系の構成や、生態系では物質が循環するとともにエネルギーが移動することを理解する。 ・生態系のバランスについて理解し、生態系の保全の重要性を理解する。 学年末考査

備考 ・ 講座の特色 ・ 履修条件 ・ 注意事項 等	
--	--